

安井議員（自民議連）

令和元年 12 月 11 日

教育長 答 弁 実 録

（ 教 育 委 員 会 ）

（問）中山間地域における高等学校の意義等について

若者が極端に少ない中山間地域にあっては、高校の存在が地域の活力に直結するという認識を持ち、設置者である県教育委員会が主体性を持って、地域政策局等とも連携をし、県立高校の価値を高め、その魅力化を図ることが重要であるが、中山間地域における高等学校の意義と、それを踏まえた今後の対応方針について、併せて教育長に伺う。

（答）

中山間地域の高等学校につきましては、教育の機会均等を確保するとともに、地域の人材育成に重要な役割を果たしており、児童生徒数が減少している中において、地域の子供が行きたいと思う学校づくりを進めることが大切であると考えております。

教育委員会では、平成26年2月に「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」を策定し、この計画に基づき、1学年1学級規模の各高等学校におきましては、地域の皆様方や市町からの御支援をいただきながら、学校の活性化に取り組んでいるところでございます。

こうした中、生徒の地域行事への積極的な参加による学校のPRや、地域人材を活用した教育活動が活発に行われるなど、地域と学校が一体となった取組が学校の活性化につながってきているものと考えております。

また、広島県中山間地域振興計画に基づき、例えば、「関わろう！地域の未来へ」をテーマに先日開催されましたワークショップでは、地域の活性化に取り組む高校生も発表者として参加し、中山間地域だからこそ得られる経験やキャリアアップについて、知事と語り合う取組が進められているところでございます。

教育委員会といたしましては、中山間地域の高等学校におきまして、地域のニーズも踏まえながら、中山間地域の自然や産業、伝統文化などを生かした学校づくりが一層推進され、更なる学校の活性化が図られるよう、関係部局とも連携し、取り組んでまいります。